

平成23年4月21日

株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループ
Morgan Stanley

三菱UFJ フィナンシャル・グループが保有するモルガン・スタンレーの 転換型優先株式の任意転換について

株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループ(取締役社長 ^{ながやす かつのり} 永易 克典、以下 MUFG)とMorgan Stanley(社長兼最高経営責任者(CEO) James P. Gorman、以下 モルガン・スタンレー)は、平成20年9月29日に合意・発表いたしました戦略的資本提携のもと、MUFGがモルガン・スタンレーの優先株式を引き受けるとともに、企業金融・投資銀行業務、リテール業務、資産運用業務等の幅広い分野で、グローバルなアライアンス戦略を展開してまいりました。

MUFGとモルガン・スタンレーは、本日、両社のグローバルなアライアンス戦略を一層強固なものとし、またモルガン・スタンレーの資本基盤の増強のために、MUFGが現在保有しているモルガン・スタンレーの転換型優先株式について、転換比率を調整の上、その全てを普通株式に任意転換することを合意し、当該転換に関する契約を締結いたしました。

また、現在、アライアンスの一環としてMUFGからモルガン・スタンレーに取締役を1名派遣しておりますが、このたびの普通株式への転換に伴い、MUFGが派遣する取締役の人数を2名に増加すること、その他任意転換に伴って両社間で締結済みの契約について一部改訂することについても合意いたしました。

これらにより、モルガン・スタンレーは、MUFGの持分法適用関連会社となる予定です。

1. 転換型優先株式の転換により取得する普通株式

MUFGとモルガン・スタンレーは、今回の転換株数について、従来の転換条件によって転換される株数に、約75百万株を加えることで合意しています。この結果、B種優先株の転換によりMUFGが受領する普通株式の株数は385,464,097株となります。

MUFGが転換型優先株式の転換により取得する上記普通株式および既に保有する普通株式をあわせると、MUFGは、モルガン・スタンレーの議決権の約22.4%を取得することになり、モルガン・スタンレーは、MUFGの持分法適用関連会社となる予定です。

上記任意転換は、関係当局の認可、モルガン・スタンレーの株主からの承認等を条件とします。

なお、MUFGが従来から保有しているモルガン・スタンレーの償還型優先株式の内容および保有関係に変更はありません。

2. モルガン・スタンレーの概要

(1) 商号	Morgan Stanley
(2) 代表者	CEO James P. Gorman
(3) 所在地	1585 Broadway, New York, NY 10036, U.S.A.
(4) 設立年	1935年
(5) 主な事業内容	証券業
(6) 株主資本	57,211 百万米ドル(平成22年12月31日現在)
(7) 発行済株式総数	1,512,022,095 株(平成22年12月31日現在)
(8) 決算期	12月
(9) 上場証券取引所	ニューヨーク証券取引所

以 上